

論点等説明シート

事業名

精神障害者保健福祉対策(うち依存症対策総合支援事業)

予算の状況
(単位:百万円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求
予算額(補正後)	2,529の内数	2,391の内数	3,141の内数	2,650の内数	
執行額	124	248	332		
執行率	—	—	—		

事業についての論点等

(事業の概要)

アルコール健康障害、薬物依存症、ギャンブル等依存症、ゲーム依存症への対策として、都道府県・指定都市において、医療機関や精神保健福祉センター、保健所、市町村、民間団体・回復施設、保護観察所等が相互に有効かつ緊密に連携し、地域のニーズに総合的に対応するため、専門医療機関及び治療拠点機関の選定や相談拠点機関(依存症相談員の配置)の設置などを行う。

併せて依存症の医療・相談の拠点整備や人材育成を推進するとともに、地域の関係機関が参画する包括的な連携協力体制の構築を図り、地域の支援体制の整備を行っている。

<事業メニュー>

- ・地域支援体制の検討等
- ・依存症に関する情報収集、相談、連絡調整等
- ・関係機関による連携会議の開催
- ・人材養成
- ・普及啓発・情報提供の実施
- ・家族支援の実施
- ・治療・回復の支援
- ・受診後の患者支援に係るモデル事業
- ・地域連携による依存症早期発見・早期対応・継続支援モデル事業
- ・精神科救急・依存症医療等連携事業

<参考>

依存症相談拠点機関、 専門医療機関を設置 する都道府県、指定都 市数	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	25	39

		平成30年度	令和元年度
依存症に関する相談件数	実績件数	37,126	集計中
	目標件数	32,507	37,126

(論点)

依存症に関する相談件数を前年度より上回ることを事業の成果目標としているが、依存症に係る施策目標とすれば、本来は依存症になる者を減らすことであるが、依存症対策等に係る支援を実施した結果を評価できるような成果目標がないか、検討する必要があるのではないか。

平成29年度の事業開始以来数年が経過し、実施自治体数も増えてきている中で、より効果的な事業の実施方法について、例えば、効果をあげている自治体の取組を参考にすることなどを検討する必要があるのではないか。